



COMPASS 発達支援センター熊本東

事業所における自己評価総括表(公表)

○事業所名	COMPASS 発達支援センター熊本東
○保護者評価実施期間	令和6年9月9日～令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 30名 (回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	令和6年10月25日～令和6年10月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名 (回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月31日

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	具体的に細分化された独自のアセスメントシートを使用し、一人ひとりの発達状況に応じた支援計画を作成しています。	アセスメントシートを活用し、個別の目標設定に努めています。	ご家庭との連携を充実させ、支援内容を共有しながら児童の成長を促していきます。
2	専門的な視点を活かし、適切な支援の提供と保護者支援をおこなっています。	年間計画に基づき、支援の質を向上させるために研修を実施しています。	支援の専門性や質を高めるため、外部研修の機会を積極的に活用していきます。
3	就学前児童に対し、個別支援を実施しています。	隣接する放課後等デイサービス事業所と連携し、就学への意識を高めています。	小学校教育経験者による就学前ロールプレイなどに取り組んでいます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会が少ない状況です。	利用児童の安全面・感染症・個人情報の保護を考慮し、交流の機会を実施できていません。	地域の施設や公共機関と連携し、地域交流の機会が制限されないよう取り組むとともに、保護者様へ地域交流の必要性を伝えていきます。
2	保護者同士の交流の機会が少ない状況です。	地域交流を望むご家庭がある一方で、個人情報保護や過剰な干渉を懸念するご家庭も多く、開催が難しい状況です。	少人数でのグループイベントなどを検討し、参加しやすい環境を整えていきます。
3	個別対応のためのスペース(個室)を十分に確保することが難しいです。	施設の構造上、分割化および個室化が難しい状況です。	限られた空間の中で、パーティションなどを活用し、可能な範囲で個別対応を行います。